

項目	現行	改訂
第4編 施設編 第2章 技術基準対象施設に共通する事項 1.1 一般 P.491		<p>1. 1. 10 コンクリート構造部材の耐久性を向上させる方策</p> <p>コンクリート構造部材の耐久性を向上させる方策のうち、これまで港湾構造物に適用された事例がある代表的なものとして、エポキシ樹脂塗装鉄筋やステンレス鉄筋、連続繊維補強材等の高耐久補強材を使用する方策、表面被覆やセメント硬化体組織の緻密化等により外部からの劣化因子（塩化物イオン等）の浸透を抑制する方策、電気防食により鋼材腐食を抑制する方策等がある。これらの方策を適用するにあたっては、高耐久補強材については文献 4-1)～4-4)を、劣化因子の浸透の抑制については文献 4-5)～4-8)を、電気防食については文献 4-9)を参考にすることができる。また、文献 4-10)の「コンクリート構造部材の耐久性を向上させる方策（案）」についても、参考にするとよい。</p> <p>これらの方策のほか、新たに開発された材料および工法の適用を検討するにあたっては、その特性を十分に理解した上で、施工条件や施工後の維持管理方法等についても考慮しなければならない。</p> <p>文献 4-11) では、コンクリート構造部材の耐久性を向上させる方策を適用する場合の性能照査および維持管理計画の策定の方法について試案が示されており、参考にすることができる。</p>
第4編 施設編 第2章 技術基準対象施設に共通する事項 1 構造物の部材 P.564-1	<p>[参考文献]</p>	<p>[参考文献]</p> <p>4-1) 土木学会：エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針 [改訂版]，土木学会コンクリートライブラリーNo.112，2003</p> <p>4-2) ステンレス鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計施工指針（案），土木学会コンクリートライブラリーNo.130，2008</p> <p>4-3) 連続繊維補強材を用いたコンクリート構造物の設計・施工指針（案），土木学会コンクリートライブラリーNo.88，1996</p> <p>4-4) エポキシ樹脂を用いた高機能 PC 鋼材を使用するプレストレストコンクリート設計施工指針（案），土木学会コンクリートライブラリーNo.133，2010</p> <p>4-5) 超高強度繊維補強コンクリートの設計・施工指針（案），土木学会コンクリートライブラリーNo.113，2004</p> <p>4-6) 複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料設計・施工指針（案），土木学会コンクリートライブラリーNo.127，2007</p> <p>4-7) 表面保護工法設計施工指針（案），土木学会コンクリートライブラリーNo.119，2005</p> <p>4-8) けい酸塩系表面含浸工法の設計施工指針（案），土木学会コンクリートライブラリーNo.136，2012</p> <p>4-9) 電気化学的防食工法設計施工指針（案），土木学会コンクリートライブラリーNo.107，2001</p> <p>4-10) コンクリート構造部材の耐久性を向上させる方策（案），http://www.pari.go.jp/unit/lcm/concrete.html</p> <p>4-11) 土木学会コンクリート標準示方書に基づく設計計算例[栈橋上部工編]，土木学会コンクリートライブラリーNo.116，2005</p>